



愛川ふれあいの村 今月の風景

2026年3月 自然のたより

暖かい日と寒い日があり、体調管理が難しい3月。冬から春へ切り替わっているこの時期は、日中と夜間の気温差が激しくなっています。人間の活動としては過ごしやすい気候かもしれませんがね。村内の桜は徐々に咲き始め、出会いと別れの季節を実感します。渡り鳥もあと少ししたら、次の場所へ旅立つことでしょう。(大瀧)



ホトケノザ (シソ科)



テングチョウ (タテハチョウ科)



カワツザクラとメジロ



サンシュユ (ミズキ科)



ボタンツル (キンポウゲ科)



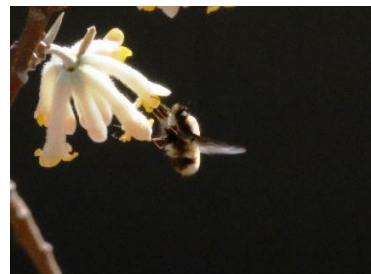
トサミズキ



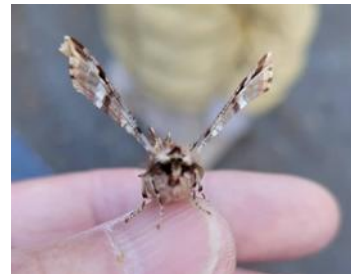
早春の恵みフキノトウ



蜜を吸うキチョウ



ピロードツリアブ



オカモトトゲエダシャク



ロウバイとシジュウカラ



カワツザクラとヤマガラ



高山に帰るアオジ



故郷が恋しいツグミ



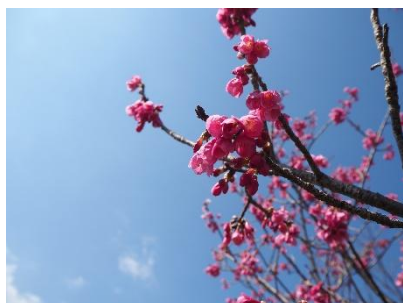
リュウキュウサンショウクイ

トピックス ★その一瞬を大切に★

春は出会いと別れの季節。学校などでは、卒業式を行った2週間か1ヵ月後には入学式が行われています。大人になると、離任式をした次の日に新入社員が来るなんてことも。目まぐるしい変化が訪れるのが春です。

今年は東日本大震災から15年目の節目の年。岩手の新聞広告が道徳の教材になっていると、私は今年知りました。あれが最後だと分かっていたのなら。大切な人へ感謝を伝えることの大切さを学ぶ機会になっているそうです。いつ、最後の瞬間になるか分からない。突然会えなくなる人に対してその一瞬を大切にすることも大事ですが、決して戻ることのない今この一瞬を大切に過ごすことも大事です。全く同じ時間を過ごすことはできません。出会いと別れを感じる春、震災の節目の年に、未来につながる今の大切さを再認識していきましょう。

寒さを感じる日も多いですが、村内を歩くと、草木に花が咲いていました。気がつくにつぼみがふくらみ、あっという間に花が咲いて、散って若葉を出す植物たち。目まぐるしい日々を過ごしていると、季節の変化についていけません。植物の変化に気づいた時は、その一瞬の変化を大事に、自然に目を向けてみてください。その一瞬を大切に過ごしていけば、素敵な未来につながり、綺麗な花が咲く瞬間を見ることができるでしょう。(石川)



生き物 ★囀りと地鳴き★

囀り(さえずり)と地鳴きの定義は厳格ではないが囀りは長く続く複雑な声で春から夏にかけて主に鳥の雄が繁殖期に縄張り宣言や雌を呼ぶ声です。それに対して地鳴きは短く単純な声で季節に関係なく雄も雌も鳴きます。ウグイスでいうと「ホーホケキョ」が囀りで藪の中から聞こえる「チャッチャッ」が地鳴きになります。冬に群れを作っていた鳥たちは群れを解消してパートナーを探します。また、冬はそれぞれが単独で生活していた鳥たちもパートナーを探します。雄は求愛や縄張りを主張するため囀りという恋の歌を歌い雌を縄張りに呼びます。選択権は主に雌にあるので雄は必死になって歌います。

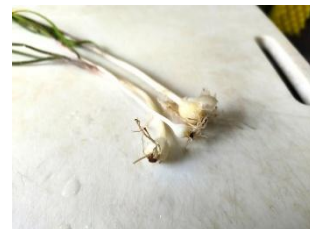
4月には夏鳥たちもやって来たいよいよ村の合唱祭が始まります。(高梨)



旬 ★ノビル★

みなさんはノビルを食べたことがありますか?名前の由来は「野に生える蒜(ヒル)」。蒜とはネギやニラなどをさす言葉で、その名の通り、ネギやニラのような香りでもとても美味しい野草の1つです。

北海道から沖縄まで、日本全土に生息しており、日当たりのよい土手などを好みます。子どもの頃は、家の周りにたくさんあったので、よくおやつ代わりに食べていました。私は味噌を付けて球根の部分そのまま食べていましたが、葉の部分も含めすべて食べることができます。しかし、スイセンやタマズシなど、有毒の似ている植物もあるため注意が必要です。ネギの匂いがノビルの証です。てんぷらや薬味としてなど、様々な方法でノビルを楽しんでみてください。(川原)



来月の見どころ

自然からの恩恵

人間は、生活のすべてを自然からの恩恵を受けながら生きています。そのような恩恵を「生態系サービス」と言っています。生態系とは、水、大気、土壌、生物、鉱物、そのほかの資源をさしています。自然は、人間が生活するのに欠かせない資源を長い時間をかけて作り出しています。人間はそれを利用して生きていますが、人間の欲望によって奪い合い破壊してしまうことも多々あります。

今も世界で自然環境破壊が進んでいます。人間の「心」が歪み戦争によって自然のみならず子どもたちまでも犠牲になっています。

今こそ人間も自然を担っている一員であり自然と共存し、自然の作る美しさや神秘性を享受しましょう。豊かな自然の中で過ごす心理的な緊張感を抑制され心豊かになります。名曲、夏の思い出の「はるかな尾瀬遠い空」の曲と共に可愛いミソサイの声を思い出します。みんな身近な自然からの恩恵を考えてみませんか。(吉田)

